**第 2 4 回庄内南部地区合併協議会
会 議 録**

期 日：平成 1 6 年 8 月 2 4 日（火）

場 所：鶴 岡 市 中 央 公 民 館

第 2 4 回庄内南部地区合併協議会 会議録

日 時 平成 1 6 年 8 月 2 4 日 (火) 午後 2 時 2 5 分 ~

場 所 鶴岡市中央公民館 大視聴覚室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 町・字の取扱いについて

(2) 組織機構について

(3) その他

4 閉 会

出席委員等

役職名	区 分	氏 名	役職名	区 分	氏 名		
会 長	鶴岡市長	富塚 陽一	委 員	櫛引町	町長	難波 玉記	
副会長	温海町長	佐藤 正明	委 員		議長	菅原 元	
副会長	鶴岡市議会議長	榎本 政規	委 員		議員	遠藤 純夫	
副会長	温海町議会議長	佐藤甚一郎	委 員		識見を有する者	長南 源一	
委 員	鶴岡市	議員	委 員		識見を有する者	前田 藤吉	
委 員		議員	委 員		三川町	町長	阿部 誠
委 員		助役	委 員		議長	佐藤 均	
委 員		識見を有する者	委 員		議員	成田 光雄	
委 員		識見を有する者	委 員		識見を有する者	鈴木多右エ門	
委 員		識見を有する者	委 員		朝日村	村長	佐藤 征勝
委 員		町長	委 員	議長	進藤 篤		
委 員	藤島町	議長	委 員	議員	井上 時夫		
委 員		議員	委 員	識見を有する者	田村 作美		
委 員		識見を有する者	委 員	識見を有する者	渡部 長和		
委 員	羽黒町	識見を有する者	委 員	温海町	議員	富樫 栄一	
委 員		町長	委 員	識見を有する者	齋藤 金一		
委 員		議長	委 員	識見を有する者	佐藤喜久子		
委 員	黒 町	議員	監査委員	朝日村監査委員	難波 鉄雄		
委 員		識見を有する者	監査委員	羽黒町監査委員	清野 均		
委 員		識見を有する者	高橋 澤				

会長・委員 37名 監査委員2名

欠席委員 鈴木 正士委員

出席幹事職員

所 属 ・ 職 名	氏 名	所 属 ・ 職 名	氏 名
鶴岡市総務部合併対策室長	佐藤 智志	櫛引町市町村合併対策室合併対策主幹	佐久間忠勝
〃 総務課長	石塚 治人	三川町企画課長	三浦 久次
〃 調査計画主幹	斎藤 雅文	朝日村市町村合併対策室長	佐藤 靖法
藤島町企画課長兼合併対策室長	半澤 正昭	温海町企画観光商工課長	川畑 仁
羽黒町企画商工課長	金野 和夫		

出席事務局職員

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
事務局長	芳賀 肇	調査計画主査	今野 勝吉
事務局次長	佐藤 智志	調査計画主査	鈴木金右工門
総務課長	石塚 治人	調査計画主査	本間 光夫
調査計画主幹	斎藤 雅文	総務係長	渡部 功
総務主査	成田 弘	調査計画係長	柳生 晃
総務主査	吉住 光正	主事	伊藤 弘治
調査計画主査	土田 宏一		

1 開 会（午後2時25分）

○芳賀 筆事務局長 それでは、時間前ですけれども、皆さんおそろいになりましたので、ただ今から第24回庄内南部地区合併協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

○芳賀 筆事務局長 初めに、会長よりごあいさつをお願いいたします。

○宮塚陽一会長 大変はっきりなしの協議会の開催でございまして、ご迷惑をおかけしておりますが、ご多忙のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まず、どちら様も同様でございますけど、今般の19日から20日にかけての台風15号、思いのほか私どもの承知している範囲内では甚大な被害を受けたようであります。関係の皆さんはやるせないお気持ちだろうというふうに思っております。今精査中でありまして、鶴岡市としても調査中で、必要な援助はしていかなばならないというふうに思っておりますが、皆様関係のところで大変ご苦労と思っておりますけども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

協議会もこれで、いろいろ不行き届きな点もあったかと思いますが、第24回までまいりまして、おかげさまでいろいろご議論いただいて、合併をするとした場合に必要な重点項目についてのご協議は大方、きょうちょっと残すかと思っておりますので、この次あたりの協議会でほぼ終わるのかなという感じをしております。

なお、協議会、次で終了ということではありませんので、ご協議いただく機会があれば随時開催させていただきますけども、そのようなことと思っておりますので、きょう事務局からご提案申し上げますのは、町・字の取り扱いの件、それから組織機構の考え方についてでございますので、どうぞ何なりとご所見をお述べいただくようお願いを申し上げます。

これからの手順でありますけども、これもなお十分協議をする必要がありますが、時期も時期でありますので、順調な手続をとということになりますというと、まず一つはご存じのとおりですけども、新市の建設計画について、県知事から同意を得たという報道がありますが、これは決して合併が決まったということ为前提にしたそういうことではありませんので、特例法第5条の規定によって、協議会で建設計画をつくった場合は速やかに所轄の県知事に事前協議をするようにという法律の定めがありますので、その法律の定めに従って事務的に進めて、大綱は了承したということであります。これ変更になれば、当然その都度県知事にまた事前協議をして了承いただくという手続をこれから繰り返すことに、変更の都度そういうことになるわけですが、皆様のご協力いただきまして、建設計画も県の考えている地域づくり、そしてまた具体的な事業についても合意をいただいたということでもありますので、改めて感謝を申し上げたいと存じます。

そのほか合併に関する議案について、県議会の議決も必要になりますので、仮に12月定例会を想定いたしますと、できれば10月の20日ころまでにその旨を県議会のほうに申し出ていただくとうようなお話がありましたので、今のところといたしましては10月のその時期までに議案を可決していただくべく、その

ためのいろんな諸手続をこれから皆様のご理解、ご協力いただいて進めたらどうだろうかというふうに思っておるところであります。

したがって、大方としましてはきょうのご協議を踏まえまして、また9月の定例会おありと思いますので、またご議論いただき、そして協定の締結をしながらも協議会でまたご相談をするというような手続はこれからすることになるわけでありませうけれども、その辺のところをさらに日程を確定した段階でご報告いたしますが、そんな運びで10月の中旬ぐらいまでに構成団体の議会からご賛同いただくようお願い申し上げますことではないかというふうに思っており、そのためにまた協議を続けさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

きょうのところは、またそれぞれ事務局から提案させますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。どうぞよろしくお祈りいたします。

3 議 事

(1) 町・字の取扱いについて

○芳賀 筆事務局長 それでは、進行のほうを会長よりよろしくお祈りいたします。

○富塚陽一会長 それでは、議事に入らせていただきます。

最初に、町・字の取扱いについてご審議をお願いいたします。

どうぞ、事務局説明してください。

○石塚治人事務局総務課長 お手元の資料、紙一枚だけの資料であります。町・字の取扱いについて(案)という資料です。

各市町村、それぞれの中に何々町とか、あるいは大字何々といったものがございませうけれども、それについての取り扱いでございませう。鶴岡市においては、いわゆる鶴岡市街地、また大山地区、由良地区、湯野浜地区で住居表示法に基づいたところの住居表示がされております。例えば馬場町とか、あるいは本町一丁目とか、そういったものでございませう。それと、鶴岡市のそれ以外の区域と6町村では、一般的に大字、字による表示がされております。藤島町役場の所在地を例に取れば大字藤島字笹花といったようなものでございませう。このような町、字を合併に伴いどのようになるかということの調整でございませう。この場合、字と申しますのは大字、小字、その両方も含むものでございませう。

四角で囲みました提案内容をご覧くださいませう。まず、(1)でございませうが、町・字の区域は、原則として現行のとおりとするものでございませう。これは、基本的に変更しないでそのままという考え方でございませう。

次に、(2)でございませうが、大字の名称には、「大字」の字句を付さないものとするものということでございませう。先に実施しました意見、要望等はがきや、また各市町村での住民説明会などで、大字はないほうがいい、また住所は短いほうがいいといったような意見があることなど、そういったことからの今回の提案でございませう。実際に日常生活の中では、住所を書く場合など、大字の表記はかなり省略されているというふうにも思われますし、またこの地域では大字とつくのが普通でありますけれども

も、全国的に見れば大字の表記のないところも多くありまして、決して一般的と言えるようなものではないようでございます。なお、小字の字、これは現在のまま残すということで考えております。

次に、(3)、現町村名の取り扱いについて、合併までに調整するということについてでございますけれども、現在の町村の名称を残すのがいいとする住民の声がございます。これにつきまして、現町村名を残すかどうか、また残すとした場合に町、村の表記をどうするかといったようなことなどを今後合併までに調整してまいりたいということでございます。下のほうに、仮のケースということで所在地表示の例示をしております。新市名を鶴岡市としての例示でございますが、例えばの鶴岡市斎コミュニティ防災センターの例では、現在は鶴岡市大字我老林字野中川原でございますが、大字を削除しまして、鶴岡市我老林字野中川原となる例でございます。の羽黒町役場の例では、羽黒町の羽黒の名称を残した場合に鶴岡市羽黒荒川字前田元となる例でございます。

基本的に本日は以上の3点につきましてご協議をいただき、具体的なところは今後さらに住民、また議会の意向を把握いたしながら、十分に検討した上で、改めてお話しをさせていただきたいというふうに思っております。まず、合併協定前、合併議案前の現時点においては、この提案内容のところまでご確認をいただければということで考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○富塚陽一会長 ただ今の事務局の提案であります、(1)と(2)は大体大方のご意見はこれでいいのではないかとということで提案であります。(3)のほうは、例えば鶴岡市三川町という町をつけるかどうかということについて、いろいろなお考えもあるようで、運営小委員会としましては、まずきょうはいろいろ自由なご意見を承ったらどうかということで、きょうは事務局の提案のとおり、合併するまでにどうか、所定の手続で定める必要がある時期までに十分議論していただいて、その時点で決めてはどうかという提案でありますので、それを了としていただいて、どうぞご意見ございましたら、ご遠慮なくご発言いただきたいと思います。もちろん(1)、(2)についても別段決まったわけでありませんで、どうぞご自由にご発言ください。どうぞ。

○富塚陽一会長 別段なければ、きょうの協議会では格別のご意見ないということ踏まえて、運営小委員会にまた持ち帰らせていただいて検討することになるわけですが、どうでしょう。何かご意見ございましたらどうぞ。

それでは、まず運営小委員会に、もちろん新市になっていろいろ変えたってそれは差し支えないわけなんで、法律で何悪い、これ悪いというわけじゃなくて、かなりその辺は自由なようですので、なければ、じゃもう一度きょうの結果を運営小委員会に報告させていただいて、運営小委員会で検討させていただくことでよろしゅうございませうでしょうか。いいですか。

(「はい。」という声あり)

○宮塚陽一会長 それでは、そのように運ばせていただきます。

(2) 組織機構について

○宮塚陽一会長 次に進みまして、組織機構についてご審議をお願いいたします。

○蓮池一輝庶務・人事・選挙管理分科会長 それでは、組織機構につきましてご説明をいたします。

組織・機構の新設、再構築についてでございます。資料をご覧いただきたいと思っております。前回の協議会では、組織を検討する上での基本的考え方につきまして、その柱となるべきことを凝集した形でお示しをしております。今回は、前回からの考え方を引き継ぎ、組織・機構の基本的視点を踏まえまして、新市の組織・機構整備の基本的考え方として、本所・支所の行政機能の分担・配置、本所、支所を除くサービス施設、支所の権限、行財政改革の推進についてお示しをしたものでございます。

1点目につきましては、組織・機構の基本的視点についてでございます。合併においては、組織・機構の整備、再構築を適確に行うことが重要であるという認識から、特にその基本的視点として合併の必要性を述べたものでございます。ご承知のとおり、市町村は財政事情が逼迫する中、住民生活の変容や地域社会、経済の構造的変革に伴う新たなニーズに適確に対応することが求められております。また、その施策については、これまでやや画一的な形で進められるということが少なくありませんでしたが、今後行政に求められるニーズは地域固有の特殊性を抜きにしては充足できない傾向が濃くなってきております。そこで、行政機関は一般的に高度化、多様化に伴い、増大するニーズにこたえとともに、地域的事情に適合する施策をより主体的に進めることが要請されてきており、そうした観点から行政機関としては市町村が最も適切な機関として重視され、国や県からの権限移譲となって表れてきております。市町村合併は、こうした時代的要請にこたえる最も有効な手段であり、庄内南部地区におきましても積極的に取り組んできたところであります。

2点目は、新市の組織・機構整備の基本的考え方でありまして、1点目の合併をめぐる事情を踏まえまして、次のような考え方を基本として新市の組織・機構の整備を進めようとするものであります。具体的な整備措置につきましては、この基本的な考え方を踏まえることを前提に、現在の市町村長、新市の市長に委任するのが妥当と考えているものでございます。行政の組織・機構は極めて複雑であり、特に今後はニーズの変化やサービスのレベルアップ、国や県からの事務移譲、職員の定数管理など、年の経過とともに必要な対応を続けていくことになるとは思われますが、もろもろの施策を具体的に実行する場合においては、さまざまな試行錯誤をしながら、常に組織・機構の修正、改善を重ねていくことになるとは思われます。望ましい状態に仕上げるには一定の歳月を要し、執行部局の責任でこれを処理させるのが適切と考えるものであります。

なお、合併協議会には、合併前の検討において内容が具体的にまとまった時点で報

告を考えているものであります。

2 ページ目ですが、(2) 以下について、新市の行政組織・機構を新設、再構築するための基本的考え方でございます。初めに、アとして、本所・支所の行政機能の分担・配置についてでございます。現在の鶴岡市役所を本所、町村役場を支所として行政機能を分担、配置するものであります。

(ア) としまして、住民がこれまでどおり従前の役所で諸手続きができるようにしますし、また日常生活にまつわるもろもろの問題の相談窓口を本所、各支所に設けることにします。これらの手続、相談への対応については、必要に応じて本所に回付してより検討し、より良いサービスが提供できるようにするものであります。また、健康・福祉部門など住民に提供するサービスの内容の充実、高度化が求められている部門では、専門職員の充実、資質の向上を図りつつ、専門職員が一体的かつ機動的に活動できる体制を整備、強化し、専門職員の能力を最大限に発揮できるように配慮するものであります。

(イ) として、支所は各地区特有のプロジェクトや行事などは、原則として従前に引き続き取り組んでいくことができるようにし、また合併に伴い検討すべき施策の調整業務も当面の重要業務として取り組むようにするものであります。

3 ページ目ですが、(ウ) としまして、内部管理部門は本所に中核機能を置いて業務内容の充実を図りつつ、全体として組織の合理的な統合、縮小、また職員の資質向上と併せて人員の削減を計画的に進めるほか、各部門の中核管理機能は本所を中核にして合理化を図りつつ、充実、強化に努めるものでございます。

次に、3 ページ目の中段となりますが、イとしまして、本所、支所を除くサービス施設についてでございます。公的施設にあっても、民間のサービス機関に移管することが適切なものは努めて移管するように措置していくということでありませう。

次に、ウとしまして、支所の権限などについてでございます。支所の長を初めとする権限、予算執行権などにつきましては、新市の行政課題と権限の分担、あるいは財政事情などを総合的に勘案して決めるべきものであり、新市で十分に検討し、適切に決定するものと思っております。

最後に、エとしまして、行財政改革の推進についてでございます。これまで各市町村が実施してきた行財政改革は、原則として既決の計画に沿うなど、引き続き実施していくことが望まれます。組織・機構の再構築の際には、この点にもよく留意することが必要であると思っております。

以上が組織・機構整備の基本的考え方をお示ししたものでございます。

それから、もう一つ資料としまして、前回に引き続き業務実態調査のまとめを提出してございます。前回との変更部分については、変更事由を四角で囲んで表示しておりますが、1 ページ目と3 ページ目と10 ページ目の3 か所でございます。1 ページ目につきましては、上のほうから5 段目になりますが、企画調整関係ということで、地域総合整備資金の相談受付ということで、これが2 から1 に変更したものでございます。それから、3 ページ目となりますが、下の段になりますが、農村整備関係ということで、農村総合整備事業の住民説明会、これに用地補償交渉・要望受付を追加したものでございます。それから、水産関係につきましては、漁港施設の占用等の申請に

ついて、これを2から1への区分変更となります。それから、10ページ目となります。前回ご指摘、ご意見ございました水産関係ということで、中段となりますが、水産関係、水産振興計画の策定について、これを追加したものでございます。

以上でございますが、なお今後におきましてもご意見を承りまして検討してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○宮塚陽一会長 ただ今のご提案であります、今まで専門部会並びに協議会でいろいろご議論いただいたお考えを一つの文書にしてまとめたものと思ひますが、協議会といたしましてはどこの課に何人置くとか、どういう係を置くなんていうことになると、とてもじゃないけどわからないので、それはまず基本的考え方できちっとここをお決めいただいて、それにのっかってしっかりやれというふうなご指示をいただくような流れではないかというようなことも含めたご提案であります、どうぞそんなようなことでご意見を承ればと思ひます。

なお、この調査のまとめ、細かいのがいっぱいありますけども、これは住民の皆さんの立場に立って、今までよりは具合悪くならないようにという配慮をした表のつもりでございますが、手落ちあるような気がしますから、どうかこれはこれからもどんどん気がついたところは言っただけければと思ひます。そうすると、その都度それに応じて手直しをしていくだろうというふうに思ひますので、これはどうぞきょうももしご意見あればどんどんご指摘いただいとと思ひますが、これはもうこれで執行部に任せるから構わないでいいという意味ではありませんので。これは、取り扱いについては住民の立場でこう考えるという提案のようですので、これは十分ご検討いただいて、ただ組織・機構をどういうふうにして、どこに人をどんなふうにして張りつけるかなんていうのは、ちょっとここでは審議余すのではないかという意味でございますので、その辺は誤解のないように、詳細についてお気づきの点は、くどくなりませんが、この表でどうぞ何なりとご遠慮なくご指摘いただきたいと思ひます。そのほか考え方についてはなるだけ各役場で今までやってきたことはみんな間に合うようにしねばならないというようなことで、あと固有のそれぞれの地区で今まで頑張ってきたプロジェクトもそこでやられるようにしたらどうだろうなんていうこととか、それともう一つはただひたすら財政事情で人を削減するというようなことでなくて、市町村そのものが国、県政の中で重要性は総体的に大きくなっていくので、しっかりした力を持って、責任をもっと持って、住民のために頑張るといふ団体に変わっていくようなことも含意の上でこの組織・機構を考えるというような意味がにじませてあるつもりでありますので、その辺も含めてどうぞご遠慮なくご意見をいただければと思ひます。

○進藤 篤委員 朝日村、進藤です。

きょうもこの組織・機構の新設あるいは再構築についてという資料が出ましたが、この中で若干質問したいと思ひますけども、まずこの2番目の新市の組織あるいは機構整備の基本的な考え方ということであるわけですが、この文章表現の中に、1ペー

ジから2ページにわたってのくだりですが、基本的な考え方を踏まえることを前提に、現在の市町村長、新市発足後は新市長に委任するのが妥当だということですが、新市発足後は新市長に委任する、このくだりはごく当然のことでありまして、これは必要ないのではないかと。あくまでもやっぱり現在の市町村長、あるいはこの協議会もあるわけですので、その意見を踏まえながらやるのが当然であって、これはどうかかと、私そんなことを思いました。これ1点です。

それから、もう一点は前から会長が言っておりましたサテライト方式という、その方式ですが、非常に考え方がユニークでいいなと、それこそ新時代にふさわしい形になるのかなというふうな期待を持っていました。というふうになれば、この本所、支所というこの関係もさることながら、専門部署を置くということで、分庁舎方式という、そういう方式もあってもいいのではないかと私は考えておりますけども、今回この原案を見ますと、そのことが全然なしということで、これは一つの考え方であって、現実には生かされなかったというふうに私は解釈したわけですが、何とかそういう今のサテライト方式と言わなくとも専門部を各支所あるいは分庁舎に置くような方法で考えてほしいもんだなというふうに思いました。

○**富塚陽一会長** 会長から答弁するのともうかと思えますけども、まず前段のほうは余計なことを書いたという感じもしますので、それは当然新市になってからはそうなる、議会と相談した上で、もちろんそういうことだと思えますので、要らないと言え要らないなとは思いますが、それはひとつ事務局に検討させますので、何も改めてここになければならないということはないと私も思います。

それから、後段のほうにつきましては、これ私の個人的見解になりますけども、どこに何するかとなると、これも容易でないものだから、その考え方、別に消したつもりでもないのですけども、まずは物理的なことから言いますと、鶴岡市役所の庁舎建て増ししませんので、あそこに収めきれなくなるということ、物理的に出てくるような気もします。もろもろそんなことを考えて、参謀本部、この部分の参謀本部はどこにとかということは、当然しなければならなくなるのでないかなということも想定されますので、実際にきょうこういう考え方で少し詰めさせていただいて、人の数を念頭に置いて、場所の配置やら何やらこれから詰めさせて、その上でまた実際に動き出した時点でご協議申し上げる、それを称してサテライトと言うか言わないかというのは、これは看板に偽りありなんてしかられるかもしれないけども、でもその辺は構成町村の中で、それならこれはこうするかというようなことを次の段階でご相談いただければ可能性はないわけでない。ただ、今書くというと、なかなか収まらないのではないかなとも思えますので、それはもう非常に狭い、私のところも例えば環境衛生部は外に出てやってもいますので、そんなことも含めて弾力的にこれから考えさせていただいて、これは私の個人的見解ですので、なおこれからご相談させていただきます。私自身は、決してなくしたつもりではないんですけども、きょうのところはこのぐらいで勘弁していただければと思います。

○**進藤 篤委員** よくわかりました。

それから、もう一つお願いですが、このいわゆる分庁舎になるか、支所になるか、それはわかりませんが、住民サービスという、その点に関しては、きょうのこの機構の原案についても非常に詳しく述べられているなというふうに思います。それはそれとして当然であると思いますし、この組織の、あるいは住民の生活を全面にサービス提供するということは当然のことだと思いますが、それでこの中にいろいろ部長になるのか課長になるのか、それは私はわかりませんが、そういうスタッフを置くというふうになった場合、そのほかにも住民の受け皿として、支所とすれば支所長みたいな、そういう形の住民の受け皿になる専門職、これ専門の何々部、何々課ではなく、やっぱり支所長としての権限を發揮できるような、住民の意見を吸い上げるような、そんな組織の代表を置くべきではないかというふうに私は思います。特に朝日村の場合は、議員定数が最初はまず2名と、14名から2名に減少するわけですので、非常に住民の方々も心配しております。そんなことで、地域審議会の設置ということは決まったわけですが、それを補完する意味でも支所長の存在が非常に住民にとってもありがたいものになるだろうなというふうに思いますし、地域審議会を直接担当するような、そして住民の意見も聞けるような支所長の存在もぜひ欲しいものだというふうに考えますので、この辺の考え方はいかがなものでしょう。

○**富塚陽一会長** これは、会長の見解を言うにはちょっと早いと思いますので、貴重なご意見として承らせていただいて、きょうはいかがでしょうか。大変重要なご意見だと思いますので、ありがとうございました。

ほかにどうぞ。

○**佐藤甚一郎委員** 今従前からサテライトという、いわゆる衛星という、そういう考え方の下に、ずっとその考え方は続いているものと思います。その中で、私どもは、鶴岡市さんもそうなんですが、海があるわけです。この海に地方自治体というものもこれから注目をしていかなければならない時代ではないかと思うんです。例えば水難、それから漁業の振興はもちろんでありますけれども、私どもが見る海というのはほとんど漁船ぐらいしか見えません、あるいは工事用の船舶ぐらいしか見えません。しかし、一歩仮に10キロ沖合に出ますと、これはとんでもない数の船が最近航行しているわけです。そういう中であって、それに隣接する地方行政体というものは、この海というものにもう少し関心を持ち、そして海の恵みはもちろんでありますけれども、それから海の危険、これは人為的な危険、それから海というのは公海と接するわけありますから、これは今度は外国という大変厄介なところと接しているわけです。すぐさま外国と接しているわけです。そういうところで、やっぱり海というものについてこれからどう取り組んでいくか、それから新市がどういう恵みというものを海から受けるか、そういうところに十分な力点を置いて行政が進められるべきだと考えますし、そのための組織として、私具体的に今どうのこうのという組織体の名前を上げることができませんけれども、しかしそうした県とのさまざまなやりとりも当然あるかと思えます。そういう中では、海に対する行政の仕組みというものをこの中でやっぱりうたっておく必要があると私は考えます。

○富塚陽一会長 ありがとうございます。ただ今のご意見も貴重なご意見として承らせていただきます。今後県の事務がどういうふうになるかもかわりますので、時代の流れの中で総合的に検討させていただいて、重要なことだと思いますので、ありがとうございました。事務局でちゃんと対応してください。

どうぞほかに。

なければ、あとこれを基にして、少し事務局にどういうことで組織体制をつくるかの今度検討に入ってもらわねばなりませんので、大体こんなことを前提にして具体的な作業を始めてよろしければ、この基本的考え方で、幾つかの案出るんだと思いますけども、検討させていただいてよろしゅうございますか。

(「はい。」という声あり)

○富塚陽一会長 それでは、なお輪郭ができたところでまたご相談申し上げることは当然のことだと思いますので、そのようなことで。

なお、あとまったくどくなりますけども、この細部につきまして取り扱い不行き届きの点あれば事務局のほうで注意をしますので、これから会議の席上でなくても、電話でも何でもいいですので、ご指摘をいただければありがたいと思いますので、どうぞよろしく願いをいたします。これはあくまでも住民の立場からどういう項目はどうするんだという配分のようなので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、この組織機構については大綱としてご了承いただいたことにして、具体的な検討作業を進めさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

(3) その他

○富塚陽一会長 きょうのところは、大体そういうことで予定のことは終わったわけですが、あと先ほどちらっと申し上げたか申し上げなかったか、これからの重要協議としては合併の期日の問題がございます。それで、きょうは合併の期日につきまして、表題上げないで申しわけありませんでしたけども、ご意見がございましたらどうぞ遠慮なく承りたいというふうに思っておりますが、今、組織機構が一応これでいいということになったようですので、これを踏まえて、実際に住民の皆さんにご不便をかけないように体制を整えてサービスを始めるというときにどんな状況になるかなということも、事務方からも十分検討してもらおう必要があると思っております。何を言いたいかというと、3月31日までに絶対合併しろという法律が決まっていたときは、もうエイヤーでそれ決めねばならないのですが、1年延びたのでどうするというようなご意見も、あれは富樫委員さんからか以前ございましたし、協議会としては法改正以前の段階で3月31日までと決めていましたので、それはそれで私のほうから提案する根拠はないわけですが、なおそういう富樫委員さんのお話もあり、法律が改正された時点でよもや住民の皆さんにご不便をかけるようになっては、これは申しわけないということなので、その辺で事務局にきょうの組織機構の決定を踏まえて少し議論させていただいて、間に合うというならそれでいいし、とつてもだめだと

いうときはどうしてだめかも含めて協議会にご報告させるようにしたらどうかと思いますが、それはそれとして合併期日について何かご所見ございましたら、どうぞ遠慮なくご発言ください。

今のところは3月31日までになっているわけです。それをそれでいいかどうかを含めて、改正法が出たものだから、あんばい悪くなったではうまくないなと…。

○**本城昭一委員** 合併期日については、具体的に検討したという経緯はございませんが、一般質問等では前回の議会で出たわけでありまして。それは、そういう新たな法律ができた、活用すべきでないかという意見で、そんな深い広いものではありませんでしたが、そういう意見が二、三出ております。この協議会でも、委員からそういう質問といたしますか、意見といたしますか、そういうのが出たような気もいたしますので、そういう法律の改正もあったわけでありまして、議論をする機会は持つべきではないかなというふうに思いますので、今ここでどうのこうのじゃなくて、その期日についての議論の中で新たな法律も考えながら、先に期日決めたから、それでがんじがらめだということじゃなくて、弾力的に議論する機会を持つべきではないかなと、そんなふうに思います。

○**富塚陽一会長** ありがとうございます。

今のお話のとおりでありまして、組織機構が大体きょう同意得られたので、それを踏まえた上で事務方のほうで少し検討してもらって、どうかということをご報告させていただきますので、それでまたそのほかのご意見もあるかもしれませんし、この次の協議会で議論していただいて決めたらどうかと、そんなようなことでどうかなと思っていましたけれども。

○**山口 猛委員** 羽黒の山口です。

24回法定協の会議開催して、きょう本当に本城委員さんの考え方、私とばっちり一致しました。本当に感謝申し上げます。

羽黒で、まず議会はご案内のとおりでありますので、新聞紙上で発表のとおりであります。私は、合併は50年に1度あるかないか、100年も合併しない町村、全国に幾つもあります。しかし、重要な案件ですので、特に議会は3分の2以上賛成の重要案件で私は進むべきではないかというふうに常日ごろ考えております。しかし、いろんな事情で過半数議決になっておりますので、それはそれでいいとして、この1年延長も含めて、この全体で議論するにはちょっと時間かかり過ぎたりいろんな町村の事情があったりして難しいと思いますので、できれば少しフリートキングできるような前の三つの委員会ですか、その辺で1回ぐらいはこの延長も含めたことを議論してみてもどうでしょうか。それだけです。ありがとうございます。

○**富塚陽一会長** それは、各委員長さんとまた相談した上で検討させましょう。いいな、事務局。

大変ご同慶に絶えないお話もありましたので、まずそんなところでこの次どうぞ自

由討論をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ほかに何か、でもこんなことぐずぐずと言わないで、こういうのだからというご意見あればどうぞ。

なければそんなところで、きょうの組織機構の考え方について基本的にご了承いただいたところで、事務方がどういう検討をこれからするか、ちょっとハードな仕事だけでも、よろしく頼みます。

それでは、合併の期日については大体そんな取り扱いでよろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし。」という声あり)

○**富塚陽一会長** ありがとうございます。

その他、何かありますか。

○**菅原 元委員** 櫛引ですけども、櫛引はきょうの合併協議会を受けて、本当ですとあすから地区座談会を開催する予定でした。それで、その内容は合併協定項目が出そろって、いろいろと住民に説明すると、そしてまた議会の全員協議会も今月の27日に開くという予定になっておったんですけども、それが急に協定項目がきょう内容について出ないということがわかりまして、急きょ地区座談会が延期されましたけども、なぜその合併協定、この内容が遅延しているのか、そのことについてまず伺っておきたいんですけども、やはり住民に区長会を通して地区座談会の日程もすべて決まっておって、それを今撤回しているわけですし、櫛引にはケーブルテレビジョンがありまして、住民にその地区座談会は延期ですという話をしているわけですけども、そうしますと合併で何らかのトラブルと申しますか、そういうものがあつたのではないかと住民に変な問題を醸し出すわけです。そういうことで、当初予定していた日程から大分遅れているようですけども、状況について事務局から伺っておきたいと思いません。

○**富塚陽一会長** 事務局というよりも、お話はよくわかりますのですが、この協定書そのものは中身は合併期日だけで皆明らかになっていることとと思っていましたけども、それはそれでいいのでしょうか。ただ、書面になって格好はついていないけども、中身はほとんど決まっていて、なお私どもというか、どこまで決めたかと言われるとちょっと私も何ですけども、9月定例会で自由な議論をしていただいて、その上で協定書でかっちり決めるのが手順でないかなんていうことで私どもは執行部としては考えておったのですが、今ここでさも決まったかのごとくやるのもどうかなんていうことで、大体の項目はもう既に協議として、今まで議事録もちゃんと、それから私の名前でもって中間報告はさせていただきます。これまで協議して決まったことはこれこれで、こういうふうなご意見もありましたという報告もさせていただきます、それは議長さんに差し上げますので、それで住民の皆さんにも説明していただいて一向に差し支えないように、きょうの協議会終わったところで中間報告として、今までの協議の内容に

ついでいろいろ、例えば市の名前であれば公募がいいんだというご意見もあったとか、さまざまなことを丁寧に書いて議事録をつけて差し上げますので、なお協定書ないということ、おしかりは私の責任でおわびしますが、一遍やっぱり議会の協議をした上で判こを押したほうがいいのではないかなというような執行部の考え方でしたので、ご了承くださいればと思いますが、どうでしょうか。

○**菅原 元委員** それはわかりますけども、例えば住民は新聞等を見てさまざま判断するわけです。そうすると、今7市町村の枠組みで合併協議しているわけですけども、さまざまな課題が新聞報道されているもんですから、そういう関係もあってその日程が遅れたのではないかという、そういう心配も出てくるわけです。

○**富塚陽一会長** わかりました。そういう心配は今の時点ではありませんので、どうぞご心配なく。ちゃんと協議会としては合併を、この構成団体でやることを前提にして粛々と進めさせていただいておりますので、何らそこに私は疑問を持ってはおりませんので、ご了承くださいたいと思います。中間報告は、ではなるたけきちんと出して、しかし、きょうはどうもありがとうございます、そんなことでございますので、ほかにどうぞ。

○**斎藤雅文事務局調査計画主幹** 事務局から、冒頭に会長よりご説明がございましたけれども、建設計画の協議について、口頭ではございますけれども、ご報告させていただきます。

昨日に県知事が総括いたします支援本部会議が開催され、建設計画の協議に異議なしとの回答がなされることを県より連絡を受けております。合併特例法第5条第3項に規定される新市建設計画案に係る県との協議につきましては、事前協議として7月26日の第22回協議会でご了承いただき、協議に入りました。この事前協議については、8月16日付で異議なしとの回答をいただきましたが、庄内総合支庁での地域支部幹事会、それと地域支部会議、県庁での本部幹事会において語句の使い方ですか助言等をいただいております。それらの助言等については各専門部会で検討し、県との協議の結果、若干の調整なり助言のとおりするなどし、8月18日に本協議を申請しております。次回以降の協議会において、正式回答文書と助言等による修正箇所についてご説明いたしたいと存じます。

以上でございます。

○**富塚陽一会長** 経過のご報告でありますので、ご了承お願いいたします。

あと何かありますか。

なければ、この次また協議会、多分一区切りの協議会になるんでないかと思っておりますので、新市をつくるに当たってのさらにいろいろなご希望が、いろんなことのご注文もあろうと思っておりますので、その際遠慮なくご開陳いただければありがたいなとも思っておりますが、きょうのところはこれで議事は終了させていただきます。どうもありがとうございました。

4 閉 会（午後3時16分）

○芳賀 筆事務局長 それでは、これもちまして本日の協議会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。